

国語 第3学年 こんな係がクラスにほしい 検討会の想定問答

指摘 1: この単元で身に付けることは何か。

返し: 学級で必要な係について目的を共有し、理由を比べながら考えをまとめる。人気投票だけで決めない。A(1)オの学習として、提案、目的、理由、共通点と相違点、まとめた案と残る課題の記録。

指摘 2: 何をもって学習できたと判断するか。

返し: おおむね満足できる状況は、話し合いの目的と進め方を確認し、意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめているという姿で捉える。語句や本文を示さず結論だけ述べる場合は、根拠を確かめる支援を行う。発言の回数や記述の長さでは判定しない。A(1)オの姿を本時の発言と記録に照らす。

指摘 3: 活動が楽しいだけで終わらないか。

返し: 提案、目的、理由、共通点と相違点、まとめた案と残る課題の記録を残す。活動後に、どの言葉を根拠にしたかを確認することで、A(1)オに関わる学習の中身を確認する。

指摘 4: つまづく児童にはどんな支援をするか。

返し: 自分がやりたい活動だけを主張する、司会が一人で結論を決める。これに対して、独自例として図書を探しやすくする仕事を挙げ、目的と仕事内容を分ける。司会・記録などの役割を決め、共通する理由と異なる理由を板書で比べる。〔知識及び技能〕(2)アとA(1)オを切り離さず扱う。

指摘 5: 考えが違ったときはどう扱うか。

返し: 教師の結論を選ばせず、「その係は、学級のどんな困りごとを解決しますか」に戻す。言葉や本文で確かめられる点と、個人の感じ方を分け、A(1)オに関わる根拠を話し合う。

指摘 6: 本時の評価で態度まで決められるか。

返し: 本時の参加の様子だけでは決めない。学年の目標(3)を受け、単元を通した記録と見直しの理由を合わせて判断する。発言の多さや従順さを態度の評価にしない。

指摘 7: 端末がない学級でもできるか。

返し: 提案、目的、理由、共通点と相違点、まとめた案と残る課題の記録は紙に記録できる。端末があれば書き直し前後を保存して比較する。道具の操作をA(1)オの評価の代わりにしない。

指摘 8: 時間が足りないとき、どこを残すか。

返し: 総時数の出典は光村図書出版の年間指導計画である。活動量を調整する場合も、本時の問いを自分で考える場面と、根拠を比べて記録を見直す場面は残す。A(1)オで目指す姿が確認できるように配当を組み直す。

指摘 9: この教材で、練習と使えるようになった姿をどう分けるか。

返し: 独自例として図書を探しやすくする仕事を挙げ、目的と仕事内容を分ける。司会・記録などの役割を決め、共通する理由と異なる理由を板書で比べる。完成品だけでなく、提案、目的、理由、共通点と相違点、まとめた案と残る課題の記録。を見て、確かめ方と変えた理由を判断する。

指摘 10: 振り返りを感想だけにしないためには。

返し: 「その係は、学級のどんな困りごとを解決しますか」への答えを学習前後で読み比べる。変えた点に加え、理由を確かめて残した点も書く。A(1)オに関わる言葉の捉え方・使い方を記録する。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

